C220M4 および C240M4 オプション ROM の問 題

内容

<u>概要</u> <u>影響を受ける可能性のあるシステム(最大1,1000台のサーバ):</u> <u>お客様の可視性と影響:</u> 回避策:

概要

このドキュメントの目的は、一部のCisco C220 M4およびC240 M4サーバで見られるPeripheral Component Interconnect Express(PCIe)オプションROM設定に関連する製造上の問題に対処する ことです。多くのCシリーズサーバは、誤ったPCIeオプションROM設定をお持ちのお客様に出荷 され、多くのPCIeベースデバイス(RAIDコントローラ/シリアル接続SCSI(HBA)、マザーボード上 のモジュラLAN(MLOM)など)へのブートをををできないHBA以下の手順は、この影響を受けるお 客様の解決に役立ちます。

影響を受ける可能性のあるシステム(最大1,1000台のサーバ):

C220 M4:2月14日~3月28日の間に出荷されたシステム

C240 M4:2月14日~3月28日の間に出荷されたシステム

お客様の可視性と影響:

「All PCIe Slots OptionROM」フラグが無効になっているため、PCIe Slotベースのデバイスから ブートできません。お客様はこのBIOSトークンを切り替える必要があり、次に示す回避策を使用 して切り替えることができます。

回避策:

回避策#1(推奨):

IMCにログインし、次に示すように、[Summary]、[BIOS]、[Configure BIOS]、[Advanced]タブに 移動します。



[All PCIe Slots OptionROM]フラグを[enabled]に設定します。変更を保存し、ホストを再起動します。

回避策#2:

クラッシュカートに接続し、vKNMをシステムに起動します。システムの電源をオンにし、F2メ ニューを使用して、「All PCIe Slots OptionROM」フラグをENABLEDに設定します。

1. [Advanced LOM and PCIe Slots Configuration]タブに移動し、Enterキーを押します

Aptio Setup Utility – Copyright (C) 2016 American Megatrends, Inc.		
Main Advanced Server Management Security Boot	Uptions Save & Exit	
Processor Configuration	LOM and PCIe Slots	
Memory Configuration	Configuration Help	
▶ QPI Configuration		
Intel TXT(LT-SX) Configuration		
Server ME Configuration		
Serial Port Console Redirection		
PCI Subsystem Settings		
Network Stack Configuration		
Trusted Computing		
▶ USB Configuration		
	++ Select Screen	
LOM and PCIe Slots Configuration	↑↓ Select Item	
ISCSI Configuration	Enter Select Field	
AVAGO MegaRAID <cisco 12g="" modular="" p="" raid<="" sas=""></cisco>	+/- Change Value	
Controller> Configuration Utility - C3.14.09.05	F1 General Help	
▶ Driver Health	F9 BIOS Defaults	
	F10 Save & Exit	
	ESC Exit	
	K/M Scroll help UP/DOWN	

2. <u>下にスクロールし、[All PCIe Slots OptionROM]を[ENABLED]</u>に設定します

LOM Port 2 OptionROM	[Enabled]	Enable or Disable all
Option ROM Status	Loaded	PCIe Slots oprom
PCIe Slots OptionROM C	configuration	execution.
All PCIe Slots OptionROM	[Enabled]	
PCIe SlotID:1 OptionROM	[Enabled]	
Option ROM Status	Loaded	++ Select Screen 11 Select Item
PCIe SlotID:2	[Enabled]	Enter Select Field
Option ROM Status	Not Loaded	F1 General Help F9 BIOS Defaults
PCTe_SlotID:4	[Enabled]	F10 Save & Exit

3. F10を押して変更を保存し、サーバをリブートします。

回避策#3:

注:この回避策は、Cisco IMCがオンラインであり、IPが既知であることを前提としています。こ のスクリプトでは、デフォルトのadmin/passwordのIMCクレデンシャルも使用されるため、これ らのクレデンシャルが変更されている場合は、必要に応じて\$passフィールドを変更する必要が あります。

このソリューションは、DHCPを使用してIMCをIP化するお客様向けです。 XML APIを使用して 1つ以上のシステムにログインし、「all PCIe Slots OptionROM」フラグを正しく設定します。サ ンプルスクリプトは次のとおりです。

ステップ1:次のページからIMC PowerToolモジュールをダウンロードします。

IMC PowerTool

次のファイルを<filename>.ps1ファイルとして保存して実行します。

インポートモジュールCiscoUcsPs

\$multiimc = Set-UcsPowerToolConfiguration -SupportMultipleDefaultUcs \$true

#このツールは、実行時にユーザにIPの入力を求めます

\$imclist = Read-Host "Enter Cisco IMC IP or list of IMC IPs separated by commers"

[array]\$imclist = (\$imclist.split(",")).trim()

\$user = 'admin'

#デフォルトのパスワードは次の行にあります(必要に応じて更新)

\$pass = ConvertTo-SecureString -String "password" -AsPlainText -Force

\$cred = New-Object -TypeName System.Management.Automation.PSCredential -ArgumentList
\$user, \$pass

\$out = Connect-Imc – クレデンシャル\$cred \$imclist

Set-ImcRackUnit - RackUnit 1 - AdminPowerソフトシャットダウン – Force

Get-ImcBiosSettings | Get-ImcBiosVfPCIOptionROMs | Set-ImcBiosVfPCIOptionROMs - VpPCIOptionROMs "Enabled" -Force

スリープ25

Set-ImcRackUnit -RackUnit 1 -AdminPower up -Force

\$out =接続解除Imc

回避策#4(Live Linux USB with UCScfg):

この回避策には、OptionROMの設定を修正するために必要なツールを含む、ブート可能なライブ USBを作成する必要があります。これには、少なくとも4 GBの空のUSBが必要です。注:次の手

- 1. ライブ.isoイメージをダウンロードしてください。<u>ライブCD</u>
- 2. ユニバーサルUSBインストーラはこちらからダウンロードしてください。 http://www.pendrivelinux.com/universal-usb-installer-easy-as-1-2-3/
- 3. UUIを起動し、目的のLinuxディストリビューションとしてCentOSを選択します
- 4. ステップ1でダウンロードした.isoにUUIをポイントします。
- 5. インストールするUSBドライブを選択し、[作成]をクリックします。プロセスが完了するま で待ってから、USBを使用する準備が整います。

Universal USB Installer 1.9.6.4 Setup	
Setup your Selections Page Choose a Linux Distro, ISO/ZIP file and, your USB Flash Drive.	Pendrivelinux.com
Step 1: Select a Linux Distribution from the dropdown to put on you CentOS Local iso Selecter Visit the CentO Step 2 PENDING: Browse to your CentOS*LiveCD*.iso	ur USB d. IS Home Page
C: \Users \Administrator \Downloads \CentOS-6.5-x86_64_LiveCD.is Step 3: Select your USB Flash Drive Letter Only	so Browse ves (USE WITH CAUTION)
Click HERE to Visit the Universal USB Installer Page for additional H Universal USB Installer http://www.pendrivelinux.com	Create Cancel

6.該当するサーバにUSBを接続し、必要なブートデバイスとして選択します。

注:上記のイメージがロードされたUSBがCentOSで起動し、一連のUCScfgコマンドを起動しま す。この特定の.isoはオプションROMの設定を修正し、MLOMポート0を最初のブートデバイスと して設定します。設定の変更が完了すると、サーバの電源がオフになります。変更は、次回の電 源オン時に反映されます。UCScfgを使用して必要に応じてBIOS/IMC設定をカスタマイズできま す。上記のプロセスは一例にすぎず、この記事で説明されている問題を修正します。